



近藤大祐社長(写真後列右から3人目)

メーカーとしての知見と職人のノウハウで レーザーの新たな可能性を追求する

株式会社 **レーザーックス**
LASERX

レーザーの受託加工だけでなく、レーザー装置の自社開発も手がけるレーザーックスは、レーザーを照射するレーザー加工ヘッドの純国産化に初めて成功するなど、業界の先駆的存在として知られる。また、長年、鋳造業で蓄積したノウハウも鋳物製品の商社機能として継承している。豊富な経験に基づく技術力で顧客の信頼を得てきた同社のイチバンは何か。

Company Profile

本社：愛知県知立市
設立：1941年4月
売上高：31億5000万円(2023年3月期)
従業員数：103名(2023年9月現在)
銀行取引店：三菱UFJ銀行刈谷支店

切削やプレスといった加工方法とは異なり、レーザー加工は対象物と接触することがないため、仕上がりが美しく、加工の自由度が高い。また、金属や樹脂はもちろん、木材やゴム、複合材など、他の方法では加工が不可能な素材も容易に加工できるうえ、切断、溶接、孔開け、マーキング(印字)といった多彩な加工を施すことができる点にも、その特徴がある。

伝統的な金属加工技術である鋳造を手がけていたレーザーックスが、新規事業としてレーザーカッティングセンターを設立し、世界的にも工業用の加工技術としては歴史の浅いレーザー加工分野に進出したのは1984年である。当初は受託加工のみを行っていたが、やがてレーザー装置の製造にも乗り出した。素材にレーザーを照射するレーザー加工ヘッドの純国産化に初めて成功した

軽量でコンパクトな国産レーザー加工ヘッドOPTICEL。豊富なオプションに加え、個別のカスタマイズにも対応している



1人の技術者が1台の機械を担当することで、高い技術力と専門性を持った従業員を育てることができる

ほか、シンプルな操作で作業効率を高めたハンドトーチ型レーザー溶接機も他社に先駆けて実用化するなど、同社は業界の先駆的存在として知られている。

「微細加工や高速切断、球面の孔開けなど、レーザーには得意分野が少なくありませんが、その半面、厚板、高反射やコスト面では他の加工方法のほうが有利な場合もあります。私どもは現場で加工作業を行うだけでなく、レーザー装置のメーカーでもあるため、レーザーの利点はもちろん、その弱点についても把握しています。したがって、素材や形状を考慮しながら、フェアな視点で最適な加工方法を選択することができます。メーカーとしての知見と職人的なノウハウの蓄積が、私どものイチバンの強みではないかと考えています」

近藤大祐社長は、自社の強みをそう語る。

将来を担う新しい事業を創出し 「第3創業」を実現する

同社の歴史は近藤社長の祖父、栄二氏により1941年に創業された近藤航空機製作所までさかのぼる。戦後は鋳造業に転じて精密機械の受注生産に取り組み、65年には精密機械分野に参入。以降、工作機械

日本にはまだ4台しかないPrima Power社のLaserdyne 795+ QCWファイバーレーザーを導入。薄板穴あけや斜め穴などを安定した品質で加工できる

をはじめとする精密機械の製造で業容を拡大してきた。

2011年にはレーザー加工分野、鋳物分野、精密機械分野をレーザーックスに統合。その後、鋳物鋳造事業から鋳物調達販売事業への転換や精密機械事業の事業売却などを経て、既存の事業を再編。レーザー加工、レーザー装置製造、鋳物調達の3事業を柱とする現在の体制が整えられたのである。鋳造事業からは撤退したものの、国内外の協力工場とのネットワークを活用し、商社機能として鋳造の伝統を維持。その結果、レーザーと鋳造が併存するユニークな体制が確立され、金属加工に関するノウハウが深化したのだ。

海外留学と他社勤務を経て入社した近藤社長は、22年、社長に就任した。2代目の父、3代目の叔父に次ぐ4代目だが、創業者の次から数えると3代目に当たることから、自身のテーマを「第3創業」と位置づけて、将来を担う新しい領域への挑戦を模索している。その一つがレーザーと医療との融合だ。じつは近藤社長自身、大学時代に医学を学んでおり、その知識と経験を活かしつつ、現在、産学連携による新技術の開発に取り組んでいるという。

「もちろん、新しい事業領域の創出は容易ではありません。創業以来、私どもは既存技術と最先端の科学技術を融合させて新たな価値を生み出し、社会に貢献することに努めてきました。そうした創業の原点に立ち返り、いま改めてレーザーの可能性を追求することで、思わぬヒントが得られたり、飛躍のきっかけが生まれたりするかもしれません。加工技術としては比較的、新しいだけに、レーザー加工は発展途上の技術ともいえます。レーザー技術の発展とともに、私どももさらに成長していきたいと思います」